

環境活動レポート

(2019年4月～2020年3月)

2020年4月24日

中国エンジニアリングサービス株式会社

1. 組織の概要

(1) 事業者名： 中国エンジニアリングサービス株式会社

(2) 代表者： 取締役社長 寶来 駿一

(3) 所在地

本 社： 広島市南区東雲二丁目 14 番 6 号

中部事務所： 三重県四日市市三ツ谷町 15 番 22 号

江波事業所： 広島市中区江波西一丁目 15-54 広島市江波水資源再生センター内

緑井事業所： 広島市安佐南区緑井町 311 番 広島市緑井浄水場内

牛田事業所： 広島市東区牛田新町一丁目 8-1 広島市牛田浄水場内

瀬野川事業所： 広島市安芸区上瀬野町 667 番地 瀬野川埋立地汚水処理場内

四日市事業所： 三重県四日市市中村町字塚谷 2509-1 (株)東芝セミコンダクター内 250 棟

東浦事業所： 愛知県知多郡東浦町舟木 50 (株)JDI 東浦工場内

東広島事業所： 広島県東広島市吉川工業団地 7-10 マイコンメモリジャパン広島工場 G 棟

安芸, 安芸クリーンセンター事業所： 広島県安芸郡坂町 1322 番地 11 号 安芸衛生センター内

三原事業所： 広島県三原市西野五丁目 14 番 1 号

尾崎川排水機場： 広島市安芸区矢野町尾崎

宇津戸川水質浄化施設： 広島県世羅郡世羅町大字川尻字権現山

本川排水機場： 広島県竹原市塩町一丁目 1 番

(4) 事業内容

上下水道施設・環境プラント等の運転維持管理業務の管理、建設業

(5) 事業の規模

①売上高および工事件数 (2019 年度)

総売上： 6 億 2,500 万円

建設業売上高： 4,140 万円

工事件数： 44 件

②従業員数： 98 名 (うち本社 16 名, 中部事務所 3 名)

③床面積： 本社事務所 87.75 m², 倉庫 23.6 m², 中部事務所 44.14 m²

(6) 連絡先： 環境管理責任者 岩崎 洋 (TEL: 082-283-2737)

2. 対象範囲 (認証・登録範囲)

(1) 組織：本社 (従業員 16 名), 中部事務所 (従業員 3 名)

注 1：江波事業所など 13 事業所は、自治体等受注先の管理下で常駐して、環境プラントの運転維持管理業務を実施していることから対象範囲に含めていません。

(2) 事業活動：上下水道施設・環境プラント等の運転維持管理業務の管理、建設業

3. 環境方針

環 境 方 針

「水と空気と環境に関する企業として、豊富な経験を活かし、
最良の技術とサービスを提供することで地域と社会に貢献する。」

当社は、各種環境プラントの維持管理（運転操作・監視・機械設備保全等）の遂行にあたり、豊富な経験と積み上げてきた技術力を駆使して、地球温暖化の防止や循環型社会の形成に貢献するとともに、事業活動に伴う環境影響をできるだけ少なくするために、環境経営システムを構築・運用し、全社一丸となって積極的に環境保全活動に取り組めます。

＜環境保全への行動指針＞

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを守ります。
2. 具体的な取り組みとして、次のことを推進します。
 - 1) 電力や化石燃料使用量削減による二酸化炭素排出量の削減
 - 2) 廃棄物の削減と適正処理
 - 3) 環境に配慮したプラント管理業務の提供
 - 4) 節水
 - 5) グリーン購入の推進

制定 2015年 7月 31日

改定 2018年 4月 1日

中国エンジニアリングサービス株式会社

取締役社長 寶 来 駿 一

4. 環境目標と環境目標達成状況

(1) 環境目標

2020 年度より本社の組織体制が大きく変わり、事務所も広くなることから 2020 年度からの基準値を見直しました。2019 年度の基準値は前年度同様 2017 年度の実績値を使用しています。

本社，中部事務所，会社全体の「環境目標」を以下のとおり定めました。

表 4-1 本社の環境目標

項 目	2019 年度 (4 月～3 月)	2020 年度 (4 月～3 月)	2021 年度 (4 月～3 月)
電気使用量の削減 (2019 年度使用基準値：8,896kWh) (2020 年度見直し基準値：16,109kWh)	削減 2 % 8,718 kWh	削減 0 % 16,109 kWh	削減 1 % 15,948 kWh
化石燃料使用量の削減 (2019 年度使用基準値：9,242 リットル) (2020 年度見直し基準値：9,053 リットル)	削減 2 % 9,057 リットル	削減 0 % 9,053 リットル	削減 1 % 8,962 リットル
建設廃棄物再資源化の徹底	建設廃棄物 再資源化の徹底	建設廃棄物 再資源化の徹底	建設廃棄物 再資源化の徹底
受託事業所における環境 活動の徹底	環境活動の徹底	環境活動の徹底	環境活動の徹底
グリーン購入の推進	エコ商品購入 割合を 90%以上	エコ商品購入 割合を 90%以上	エコ商品購入 割合を 90%以上

- (注) 1. 「2019 年度使用基準値」は 2017 年度の実績値であり、「2020 年度見直し基準値」は 2019 年度の実績値に補正值を乗じた値である。
2. 2020 年度の目標は、「2020 年度見直し基準値」とする。
3. 事務所の水使用量、ガス使用量は個別のメーターがなく家賃に含まれているため、数値として把握できない。数値目標としては設定しないが、節水・節ガスの取組は徹底する。建設現場の電気使用量、水使用量は把握できないため、数値目標は設定しないが、節電・節水の取組は徹底する。
4. 一般廃棄物は、排出量が少ないことから削減目標は設定していないが、分別等の取組は徹底する。
5. 化学物質は使用していない。

表 4-2 中部事務所の環境目標

項目	2019 年度	2020 年度	2021 年度
電気使用量の削減 (基準値：4,004kWh)	削減 1 % 3,964kWh	削減 2 % 3,924kWh	削減 3 % 3,884kWh
化石燃料使用量の削減 (基準値：4,613 リットル)	削減 1 % 4,567 リットル	削減 2 % 4,521 リットル	削減 3 % 4,475 リットル
環境活動の徹底	環境活動の徹底	環境活動の徹底	環境活動の徹底
節 水	削減 0%・19m ³	削減 0%・19m ³	削減 0%・19m ³
グリーン購入の推進	エコ商品購入 割合を 90%以上	エコ商品購入 割合を 90%以上	エコ商品購入 割合を 90%以上

- (注) 1. 「基準値」は 2017 年度の実績値である。
 2. 水使用量については、1 ヶ月使用量が少ないため「2017 年度基準値 19m³」を「目標値」とするが、節水の取組は徹底する。
 3. ガス使用量について 2017 年度は毎月 0m³であったため、数値として把握できない。そのため数値目標としては設定しないが、節ガスの取組は徹底する。
 4. 一般廃棄物は、排出量が少ないことから削減目標は設定していないが、分別等の取組は徹底する。
 5. 化学物質は使用していない。

表 4-3 会社全体の環境目標

項目	2019 年度	2020 年度	2021 年度
電気使用量の削減 (2019 年度使用基準値：12,900kWh) (2020 年度見直し基準値：20,113kWh)	12,682kWh	20,033kWh	19,832kWh
化石燃料使用量の削減 (2019 年度使用基準値：13,855 リットル) (2020 年度見直し基準値：13,666kWh)	13,624 リットル	13,574 リットル	13,437 リットル
建設廃棄物 再資源化の徹底	建設廃棄物 再資源化の徹底	建設廃棄物 再資源化の徹底	建設廃棄物 再資源化の徹底
受託事業者における 環境活動の徹底	環境活動の徹底	環境活動の徹底	環境活動の徹底
節 水	節水の徹底	節水の徹底	節水の徹底
グリーン購入の推進	エコ商品購入 割合を 90%以上	エコ商品購入 割合を 90%以上	エコ商品購入 割合を 90%以上

(2) 環境目標達成状況

2019年度の当社，中部事務所，会社全体の環境目標達成状況は以下のようになりました。

表 4-4 本社の環境目標達成状況

項 目	単位	目 標	実 績	評価
電気使用量の削減	kWh	8,718	8,479	○
化石燃料使用量の削減	㊦	9,057	6,964	○
建設廃棄物再資源化の徹底	-	建設廃棄物再資源化の徹底	建設廃棄物再資源化の徹底	○
受託事業所における環境活動の徹底	-	環境活動の徹底	環境活動の徹底	○
節水	-	節水の徹底	節水の徹底	○
グリーン購入の推進	-	エコ商品購入割合を90%以上	エコ商品購入割合 99%	○
電気及び化石燃料使用に伴う二酸化炭素排出量実績	kg-CO ₂	27,296	22,264	○

上記、電気及び化石燃料使用に伴う二酸化炭素排出量実績は、目標より **18.4%減少**した。(購入電力の二酸化炭素排出係数は、中国電力の2013(H25)年度の調整後排出係数0.719kg-CO₂/kwhを使用した。)

表 4-5 中部事務所の環境目標達成状況

項 目	単位	目 標	実 績	評価
電気使用量の削減	kWh	3,964	3,188	○
化石燃料使用量の削減	㊦	4,567	2,756	○
環境活動の徹底	-	環境活動の徹底	環境活動の徹底	○
節水	-	削減0%・19m ³	削減0%・16m ³	○
グリーン購入の推進	-	エコ商品購入割合を90%以上	エコ商品購入割合 98%	○
電気及び化石燃料使用に伴う二酸化炭素排出量実績	kg-CO ₂	12,526	7,945	○

上記、電気及び化石燃料使用に伴う二酸化炭素排出量実績は、目標より **36.6%減少**した。(購入電力の二酸化炭素排出係数は、中部電力の2016(H28)年度の調整後排出係数0.485kg-CO₂/kwhを使用した。)

表 4-6 会社全体の環境目標達成状況

項 目	単 位	目 標	実 績	評 価
電気使用量の削減	kWh	12,682	11,667	○
化石燃料使用量の削減	㊦	13,624	9,720	○
建設廃棄物再資源化の徹底	-	建設廃棄物再資源化の徹底	建設廃棄物再資源化の徹底	○
受託事業所における環境活動の徹底	-	環境活動の徹底	環境活動の徹底	○
節水	-	節水の徹底	節水の徹底	○
グリーン購入の推進	-	エコ商品購入割合を 90%以上	エコ商品購入割合 99%	○
電気及び化石燃料使用に伴う二酸化炭素排出量実績	kg-CO ₂	39,822	30,209	○

上記、電気及び化石燃料使用に伴う二酸化炭素排出量実績は、目標より **24.1%減少**した。

5. 主要な環境活動計画の内容と取り組み結果の評価、次年度の取組内容

(1) 電気使用量の削減

空調の適正温度管理や不要照明をこまめに消すなどにより、電気使用量の削減に取り組んだ結果、本社、中部事務所ともに目標を達成しました。次年度は本社の組織体制が変わり、事務所も広がるため基準値を見直します。その基準値を目標値とし、引き続き活動を徹底し、CO₂排出削減に努めます。

(2) 化石燃料使用量の削減

使用する営業車等のガソリン使用量については、ハイブリッド車の導入、アイドリングストップの励行、急発進・急加速をしないなどのエコドライブを心がけた結果、目標を達成しました。次年度は本社の組織体制が変わり、管理車両も増えるため基準値を見直します。仕事量に比例してガソリン使用量も増加すると見込まれますが、常日頃のエコドライブを意識して、年間目標の達成に向けて、取組を徹底していきます。なお、建設業に使用する重機等に関し、その使用頻度はかなり低く専門業者に委託する場合が大半と見込まれます。そのため重機等建設業に伴う二酸化炭素排出量は、低騒音省エネ対応済の重機を使用する業者への発注を徹底するとともに、省エネ運転やアイドリングストップの励行を指導していきます。

(3) 建設廃棄物再資源化の徹底

建設業に伴う産業廃棄物は、その仕様書に再資源化に関する詳細があるため、仕様書どおりの対応を徹底します。そのほかの廃棄物についても、分別の徹底により再資源化に努めています。次年度もこの取組を徹底していきます。

(4) 受託事業所における環境活動の徹底

現在受託管理しているすべての事業所は、基本的にエンドユーザー又は元請事業主が電気・ガス・水道などの管理を行っており、当社が直接把握することができないため具体的な数値目標は設定しないが、積極的に節電・節水・省エネ等の提案や自主的な環境保全活動を進めていくために、社員に対する啓蒙活動や各種資格の取得を進めています。本年度も、環境活動の継続的な取組や新たな取組ができるよう指導を行い、設定した教育計画の達成に向けて努力、指導を行いました。次年度も引き続きこの取組を徹底していきます。

(5) 節水

本社の水使用量は、個別メーターがなく家賃に含まれているため数値として把握できません。数値目標としては設定していませんが、節水の取組として節水の張り紙の掲示をし、指導を行いました。

中部事務所では毎月の使用量が少なく基準値 19m³、削減 0%と設定しており、本年度の使用量は 16m³で目標を達成しました。

本社、中部事務所ともに、次年度も引き続き節水を徹底していきます。

(6) グリーン購入の推進

グリーン購入に取り組むこととし、事務用品はすべてグリーン購入・エコ商品のカタログより選んで購入しています。本年度も、エコ商品の購入割合を 90%以上とすることを目標とし、切替えられるものはグリーン購入に切替え、本社、中部事務所ともに目標を達成できました。次年度も引き続きこの取組を徹底して、目標を達成できるように指導していきます。

6. 環境関連法規制等の遵守状況

廃棄物処理法など当社に適用される環境関連法規制について、遵守評価を行いました。その結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、過去 3 年間、当局からの違反の指摘や訴訟もありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

本年度は、本社・中部事務所ともに環境目標をすべて達成できました。また、目標達成のための活動も概ね実行できました。次年度については、本社の組織体制が変わるため電気使用量、化石燃料使用量の基準値を見直します。引き続きこれまでの取組をさらに徹底していきます。

8. 環境活動の紹介

(1) 環境整備活動



(2) 消防訓練



(3) AED訓練



(4) 広島市主催『下水道ふれあいフェア』参加



(5) ゴミの分別



(6) 節水喚起



(7) 節電喚起



(8) エアコン温度設定

